

# こもれびの会便り

平成 27 年 5 月 発行 栃木県林業振興協会女性部 Vol. 3



**栃餅作り** 2014.12  
『栃餅の作り方の問い合わせがあるんですが…』  
そんな話から始まった栃餅作り。経験者はナシ！  
栃の実を拾って、乾燥させて、皮をむいて、清流で晒してやっと準備完了。栃餅になった時には一同感動しました!!

## かな削りアート作品作り講習会

木材をもっと有効活用しようと、かな削りの作品作りを実施しました。かな削りとはいえ、とても香りがよく、木目の美しさや機能性は侮れません。たわし、インテリア等々良い商品開発が出来たら「とちまるショップ」で販売しようと志は高く持っています。



## とちまるショップの販売コーナー

手作りの素朴さが好評です。沢山の山の魅力を届けます！

会員のライフワークとなりそうなのが、山の恵みを利用した小物づくり。木の実や木の枝をどう作品に仕上げるか各々思案して作り上げています。林業センターには沢山の樹木があって創作意欲が湧いてきます。作品作りを通して、私達の足元にいろんな恵みや楽しみがあることを気付かされます。



## 埼玉県林業女性会議「結木の会」視察 (2014. 7. 25)

ともに山に暮らす女性同士、賑やかに会話が弾みました。「結木の会」は活動実績が素晴らしく、とても良い刺激になりました。秩父バイオマス元気村発電所は火災のために稼働している所は見られませんが、担当の職員の方の率直なお話を伺うことが出来てとても参考になりました。

私達「こもれびの会」は森や里の素晴らしい、環境教育の大切さ、林業の重要性や木の文化を守りながら、後世に伝えることを目的として活動しています。

26年度は様々な事業を実施しました。紙面の関係ですべてをお伝えすることはできませんが、多くの皆さまのご支援、ご協力をいただきました。

特に画期的な事業として定着しそうなのが宇都宮大学の農学部森林科学科の学生を受け入れる事業です。山村の暮らしを肌で感じてもらえるよう、各受入れ林家ではそれぞれに工夫を凝らしています。一泊から二泊の日程ではありますが、それでも学生さんには驚きや発見があるようです。熱心に現場で取り組む姿を見ていて、私達も嬉しくなります。

皆様のご支援を頂ながら今後とも充実した活動を目指したいと思います。

「こもれびの会」会長 高橋清子

# 栃木の山の暮らし



県南部の佐野市はみかも山、唐沢山、秋山川等沢山の自然に恵まれています。山や公園で見つけた木の実や小枝、蔓を使い小物を作って地元のイベントで販売したり、ストラップの作り方を教えたり、母娘クラフト教室を開催しました。秋のリース作りは人気です。今年も沢山の材料を用意して作品作りを楽しみたいです。

佐野市 新井秀子



那須地域では12月に『おが粉浴』を初体験しました。「えがおをつなぐとちぎ木育の会」の大類智枝さんの指導です。木の香りと指の先から感じられる温もりに癒されるひと時でした。「木の工房のなか」のナカムラヨシノさんの木工指導があり、皆さん思い思いの小物作りに夢中になりました。師走の慌ただしさを少しだけ忘れた時間でした。大田原市 屋代ゆき子



平成26年10月3日 ボトルフラワー講習会を開催しました。会員はほとんどが60代、70代、80代の方もいらっしゃいます。はじめは難しそう、出来るかしら？と不安そうな様子でいっぱいでした。ところが、暫くするとおしゃべりが止んで、皆さん、どんどん手仕事の世界に入って行きました。そして、自分だけの素敵な作品が出来ました。茂木町 瀬尾 恵子



日光地区の女性部では「栃餅作り」に取り組みました。聞き覚えのある「栃餅」ですが、会員誰も作ったことはありません。資料を集めて初めての体験です。取り組んでみると、栃餅は清らかな川と、安全な雑木の灰が必須です。安全な自然があって始めて食べることが出来る究極のスローフードです。日光市 大嶋久美子

# 林家・林業事業体へ



日本の林業の可能性を感じた

この体験を学業・就活に活かしたい

何もかもが新鮮

人と自然の豊かさを実感

手伝いに行きます。連絡ください。

栃木県林業振興会女性部会では、宇都宮大学森林科学科の大久保教授のご協力のもと、私たち林家や林業事業体が大学生を受け入れ、農林業の暮らしや、実際の林業の仕事体験する1泊から2泊のステイ事業を行っています。

大学生は初めての体験、私たちは教えることの大切さを実感し、次の世代を担う若者を受け入れています。

お問い合わせ先：栃木県林業振興協会 HP またはメール

tochirinshin@moritomegumi.com